

Leica Infinity

現場でもオフィスPCからでも
接続可能



プロジェクトへの新しいアプローチ

新次元のオフィス・ソフトウェアを体験してください。Leica Infinity は複雑な構造物のデータを高い精度で処理できるだけでなく、3D データの解析機能へ容易にアクセスできる環境を提供します。現場で計測した 3D データや複数のスキャンデータを、かつてない速さで編集し、その他の計測結果と統合して、プロジェクトのさまざまな段階でより迅速な判断を可能にします。



効率的なデータチェック

Leica Infinity は集約した全ての生データへいつでも簡単にアクセスすることができ、処理済みデータやアーカイブデータ、計測結果を数回のクリックで統合、あるいは相互チェックすることができます。計測作業工程に変更が生じて、容易にデータの確認が可能のため、現場作業員は目の前の作業に集中することができます。対応や意思決定を早めるという事はプロジェクトの効率向上を意味します。



計測結果のレポート作成と記録保存

どれ程複雑な計測作業であっても、状況を明確に把握しておくことは大切です。長期にわたるプロジェクトでも、Leica Infinity には各段階と最終的な結果をレポートするためのツールが用意されています。全てのデータや編集した結果などはプロジェクトに保存でき、いつでも必要な時にデータへアクセスできます。そのため、プロジェクトの経緯が一目瞭然です。

Leica Infinity オフィス・ソフトウェア

モジュール	特徴
ホーム (Infinity Basic)	計測データや杭打ちデータのレポート作成や結果処理を含む、現場からオフィスまでの作業フロー データインポート: DBX, ASCII, HeXML/XML, SkiASCII, RINEX, DXF/DWG, SHP, PTS/PTX, PLY, e57 LAS/LAZ, IFC, IFCZIP, ifcXML データエクスポート: DBX, ASCII, HeXML/XML, SkiASCII, RINEX, DXF/DWG, SHP, KML/KMZ, PTS, e57, LAS/LAZ Hexagon Imagery Program を含む、地図、画像データ、特徴線データにアクセスする統合サービス 測量士やマシンコントロール機器に現場のデータを送受信するための、Leica eXchange や Leica ConX 等の総合サービス
特長 (Infinity Basic)	ブロックとラインスタイルを使用し、自動化された特徴抽出コード処理による現場からオフィスへのワークフロー 2D / 3Dシンボルを含む主情報を作成および編集し、CAD用に特徴線を定義するためのコーディングツール ユーザーが作成したデータ、点群、画像、または現場で収集したデータから、点、ライン、エリアを作成または管理 プロジェクト データを作成または確認するための座標値の算出
TPS 解析 (オプション)	TPS 器械点設定ツール - 器械点の方角と位置データの作成や変更 算出処理をして、現場の計測作業量を削減するためのTPS測定ツール トラバース測定の調整 - 現場で生成された計測結果データから、連動する値を自動的に更新
GNSS 解析 (オプション)	スタティック測位データとキネマティック測位データの、最先端のマルチGNSS信号処理 サイクルスリップ、SNR、残差プロットと統計情報を表示する高度なGNSSデータ解析ツール 直接 RINEX をダウンロードするための HxGN SmartNetリファレンスネットワークへの接続
レベル解析 (オプション)	レベルラインツール、点の開始/終了位置の定義、ラインの結合/分離 レベルラインの解析 - オフィスPCでのレポートの作成、編集または再解析 1Dネットワークの調整 - レベルの高さネットワークのサポート
表面 (オプション)	単点および点群から3Dで表面を算出 表面ツールによるTINメッシュの作成と管理 正確な体積算出、表面と表面の高さの比較、杭打ちのための誤差の許容範囲の算出
スキャンニング (オプション)	点群データを整理して作業をするためのスキャングループの作成 比較とチェックのための点群測定 点群クリーニングツール、面のクリッピング機能を使用して、点群の作業エリアを簡素化
イメージング ベーシック (オプション)	統合画像ビューアーを使用してグループとフィーチャー別に並べ替え、画像データを管理 トータルステーションおよび GNSS センサーから取得した画像から点を算出
イメージング 点群 (オプション)	画像を処理して、点群、デジタル表面モデル、オルソ画像を含むプロジェクト データを取得 制御点、確認、品質レポートのための使用を含め、GNSS と地上型スキャナーデータとの完全統合 主要な値を持った点、ライン、エリアの特徴データを抽出し、体積を算出し、切盛りマップの作成
補正 (オプション)	補正 - 全計測の、自由または制約があるネットワークの算出 フル 3D/2D/1D のデータ算出および 2D+1Dの算出結果の統合 一貫性かつベストな座標値データグループを保存する前に、ネットワーク上で実行して比較および管理
インフラストラクチャ (オプション)	中心線、ストリングライン、表面構造などの道路設計データをインポート、可視化、修正、整理 杭打ちを含むすべてのフィールドアプリケーションのレポート作成、公差フラグのチェック 手動で道路データを入力し、ストリングラインを計算して、マシンコントロール用の表面構造を生成

推奨システム

OS	Windows 8、Windows 10 - 64 bit		
入力	キーボード、ホイール付きマウス		
ハードウェア	最低要件	推奨	推奨画像解析用
ディスプレイ	1024 × 768	デュアル 1900 × 1280	デュアル 1900 × 1280
プロセッサ	デュアルコア 1.8 GHz	マルチコア 2.4 GHz またはそれ以上	マルチコア 3.5GHz またはそれ以上
RAM	4 GB	32 GB またはそれ以上	64 GB またはそれ以上
ディスク容量	50 GB	256 GB またはそれ以上	1TB SSD またはそれ以上
グラフィック	Direct X9 との互換性		
	512 MB	4 GB	8 GB NVIDIA CUDA 対応

イラスト、説明、技術データは変更されることがあります。イラスト、説明、技術データは変更されることがあります。
Copyright Leica Geosystems AG, Heerbrugg, Switzerland, 2020.
813468ja - 08.20

ライカジオシステムズ株式会社

〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル18F Tel. 03-6809-4925
leica-geosystems.com

- when it has to be **right**

Leica
Geosystems